

経営講座

「新：高知県で儲かる会社を創る方法」

第8回テーマ 戦術の重要性「写真館が美人に撮れる遺影写真で大成功した例」

今回は、戦術の重要性「写真館が美人に撮れる遺影写真で大成功した例」の説明をさせて頂くが、高知県の写真館も廃業した例が多い。高知県の写真館の皆様や他の業種の皆様も是非ともこの成功例をヒントに頑張ってください。要は、ビジネスの成功は、業種に関わらず顧客の心を掴むことである。顧客の心はご自身の心と同じかも知れませんし、異なるかも知れませんし、その双方が存在するかも知れません。このことに留意してください。

写真館が「美人に撮れる遺影写真」で大成功

1) 当時の環境

今のままの写真館では将来性が無く、このままではギリ貧の状態だった。

2) 成功した戦略

「遺影写真での写真館」増収増益戦略

日比谷シャンテにある写真館オプシスは今のままではダメなので何とかしないとと考へて、遺影写真に着眼した。遺影写真選びに困っている遺族が多いと聞くのだ。

3) その戦略を成功させる為の戦術

①「美人に撮れる」戦術

着眼した遺影写真も普通の遺影写真ではなく、美人に撮れる遺影写真である。

②「プロに依頼・特別なメイク」戦術

プロのヘアメイクアーティストが撮影用に特別なメイクを施し、レフ版で囲み顔に光を集中、その為の厚化粧をする。

③「CG修正無し」戦術

CGで修正せずに自然なシワを残す写真を撮る。女性に大人気だ。

テレビ番組があまり美人でない代表として呼んだ柴田理恵さんが撮影に挑み、奇跡の1枚の写真が撮れた。柴田さんが見違えるような美人に撮れている。

4) 成果

美人になりたいという女性の願望を遺影写真で満たしたことにより、写真館は大繁盛。写真館を4店舗に拡大して年商は3億円と発展繁栄している。

5) 成功要因

この事例の成功要因は、美しくなりたいという女性の願望を、写真の修正や整形手術をしないで満たしたことである。

6) 著者より一言

高知の写真屋さんでも売上が落ちて大変。高知の写真館も出来るかも？。この成功例は女性じゃないと分からない心理か？異業種も戦術の策定方法は同じ。

注 1) 上記の「環境適応勝利戦略」及び「その戦略を成功させる為の勝利戦術」の各名称は、上記各事業の内容等に応じて、著者が最も適切だと思われる名称を付したものである。

< 龍馬社長大学 学長 奴田原 惇郎 (ぬたはら・あつお) >